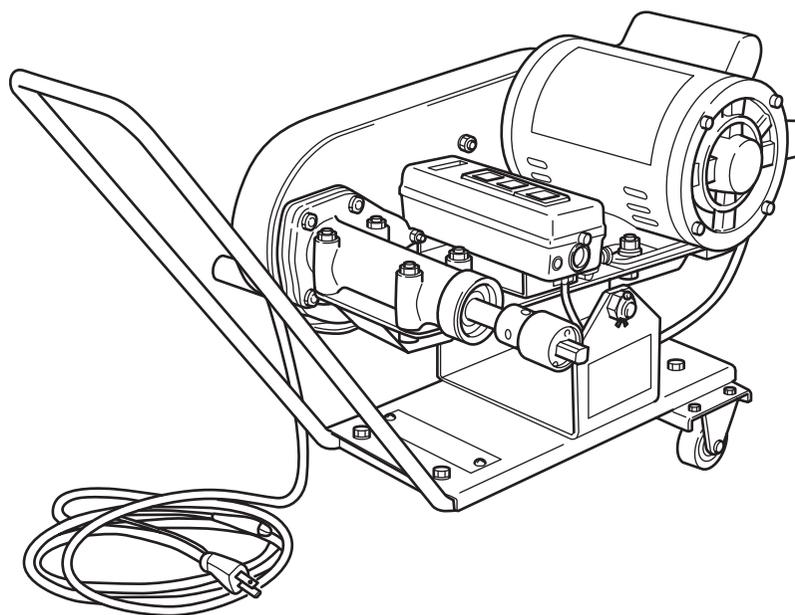


RM20B

ラッピングマシン

取扱説明書 & パーツカタログ



“必読” 機械の使用前には必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

目 次

ごあいさつ	2	6-1. 機械の点検	8
はじめに	2	6-2. 作動の点検	8
危険警告記号の説明	2	7. 締め付けトルク	9
使用上の注意	3	7-1. 標準締め付けトルク	9
使用目的	3	8. 操作方法	10
安全	3	8-1. 機械を離れるときの注意	10
安全上の注意事項	3	8-2. 操作ラベル貼付位置と説明	10
トレーニング	3	8-3. スイッチ	10
運転の前に	3	8-4. ブレーカーボタン	10
運転操作	4	9. 移動・運搬	11
保守と保管	4	9-1. けん引移動	11
電気に関する注意事項	4	9-2. 持ち上げ運搬	11
廃棄	4	10. 作業	11
リサイクルおよび廃棄処分	4	10-1. 作業時の注意事項	11
リサイクルについて	4	10-2. 接続方法	12
廃棄処分について	4	10-3. バックラッピング	13
製品概要	5	11. 保管	14
1. 仕様	5	11-1. 保管について	14
仕様表	5	メンテナンス	15
2. 各部の名称	5	12. メンテナンス上の注意	15
3. 規制ラベル	6	13. メンテナンスの方法	15
3-1. 規制ラベル貼付位置	6	13-1. 機械の清掃	15
3-2. 規制ラベルの説明	6	13-2. ベルトの張り調整	16
4. 警告ラベルと指示ラベル	6	パーツカタログ	18
4-1. 警告ラベルと指示ラベルについて	6	1. フレーム・電装部	19
4-2. 警告ラベル・指示ラベル貼付位置と説明	6	2. ギヤボックス部	21
取り扱い説明	7	3. 付属部品	23
5. 使用前の準備	7		
5-1. ハンドルの取り付け	7		
5-2. キャスター車輪の取り付け	7		
6. 点検	8		

ごあいさつ

このたびは、パロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

はじめに

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店、販売店または、弊社にお問い合わせください。

お問い合わせの際には、必ずこの製品の型式と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡しく下さい。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

	危険警告記号
この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。	
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。
重要	製品の構造などの注意点を示しています。

使用上の注意



注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。
純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ この製品の取扱説明書
- ・ ご使用の芝刈り機の取扱説明書
- ・ モーターの取扱説明書

使用目的

この製品は、リールモアのバックラッピング（簡易研磨）をすることを目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

この製品をその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。



危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。

事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。

この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

トレーニング

1. 本書や関連する機器の説明書をよくお読みください。
各部の操作方法や警告ラベル、機械の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
2. オペレーター、整備士が日本語を読めない場合には、オーナーの責任において、本書の内容を十分に説明してください。
3. すべてのオペレーター、整備士に適切なトレーニングを行ってください。
トレーニングはオーナーの責任です。
4. 正しい運転知識の無い方には機械を操作させないでください。
5. オーナーやオペレーターは自分自身や他の安全に責任があり、オーナーやオペレーターの注意によって事故を防止することができます。
6. 本書には、必要に応じて追加の安全情報が記載されています。

運転の前に

1. 安全かつ適切に作業するには、どのようなアクセサリーやアタッチメントが必要かを判断してください。メーカーが認めた以外のアクセサリーやアタッチメントを使用しないでください。

2. 作業には安全靴と長ズボン、ヘルメット、保護メガネ、および聴覚保護具（イヤーマフ）を着用してください。長い髪、だぶついた衣服、装飾品などは可動部に巻き込まれる危険があります。また、裸足やサンダルで機械を運転しないでください。
3. 子供を作業区域に入れないでください。オペレーター以外の大人の監視下に置いてください。
4. 防護カバーが正しく取り付けられているか点検してください。

運転操作

1. 作業中に異常な振動を感じたときは、機械を停止し、点検・修理してください。
2. 作業中はリールカッターに手足を近づけないでください。
3. モーター作動中は、機械を持ち上げたり、運んだりしないでください。
4. 周囲に人がいるとき、特に子供やペットがいるときは、絶対に作業を行わないでください。
5. アルコールや薬物を摂取した状態で運転をしないでください。
6. 機械を移動する場合は、コンセントを抜いてください。

保守と保管

1. 修理・調整・清掃作業の前には、平らな場所に置いて、コンセントを抜いてください。機械のすべての動きが完全に停止したことを確認し作業を行ってください。
2. 絶対に訓練を受けていない人に機械を整備させないでください。
3. 調整、整備などに必要な工具類は適切な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。
4. 配線などが接触したり、被覆のはがれが無いように注意してください。
5. すべての部品が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。消耗したり破損した部品やラベルは安全のため早期に交換してください。
6. 常に機械全体の安全を心掛け、ナットやボルト、ねじ類が十分締まっているかを確認してください。

電気に関する注意事項

1. ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。雨中で使用しないでください。
2. 機械を水洗いをしたり、雨ざらしにはしないでください。
3. 万一コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに使用を止め、電源プラグを抜いてください。感電するおそれがあります。
4. コード部を引っ張ってコンセントから抜かないでください。
5. コードを熱、油の近くや角のとがった場所に近づけないでください。
6. コードは定期的に点検し、損傷している場合は、新しいものと交換してください。
7. 機械を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。
8. 次のような場合も電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 移動・運搬するとき。
 - 点検や整備をするとき。
 - 部品を交換するとき。
 - その他、危険が予想される場合。
9. 可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。思わぬ事故をおこし、機械の破損またはケガをするおそれがあります。
10. 感電事故防止のため、アースを取り付けてください。

廃棄

リサイクルおよび廃棄処分

リサイクルについて

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。

また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。（例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など）

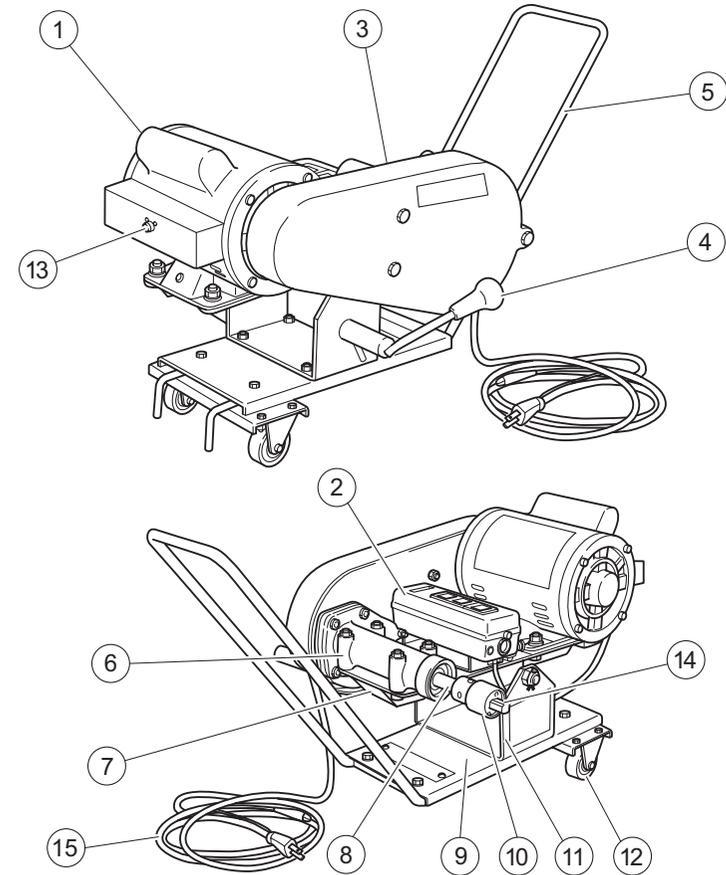
製品概要

1. 仕様

仕様表

型式	RM20B	
寸法	全長	70 cm
	全幅	38 cm
	全高	40 cm
質量	ラッピングマシン	27.5 kg
	付属品	4.5 kg
回転速度	50Hz 地域 : φ65 プーリー使用	140 rpm
	60Hz 地域 : φ55 プーリー使用	
モーター	定格電圧	AC 100V
	定格消費電力	160/120 W
	定格周波数	50/60 H z

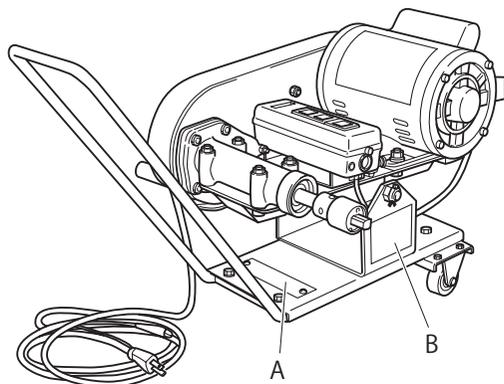
2. 各部の名称



①	モーター	⑨	フレーム
②	可逆型押ボタンスイッチ	⑩	角ジョイント付ソケット
③	ベルトカバー	⑪	モーター台受け金
④	レバーハンドル	⑫	キャスター車輪
⑤	ハンドル	⑬	ブレーカーボタン
⑥	ギヤボックス	⑭	接続軸
⑦	モーター台	⑮	電源コード
⑧	伝動軸		

3. 規制ラベル

3-1. 規制ラベル貼付位置

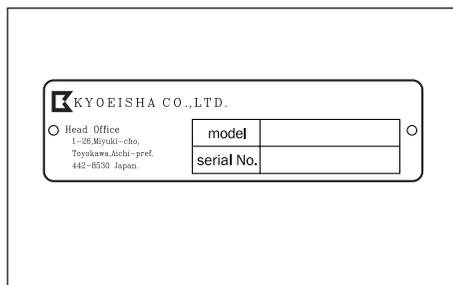


A	機番プレート
B	PSE適合ラベル

3-2. 規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、型式と機番が記載されています。



PSE 適合ラベル

PSE は電気用品安全法の適合表示マークです。S-JET は第三者機関による認証マークです。これらのマークは、日本国内で使用する電気用品の適合を表します。



4. 警告ラベルと指示ラベル

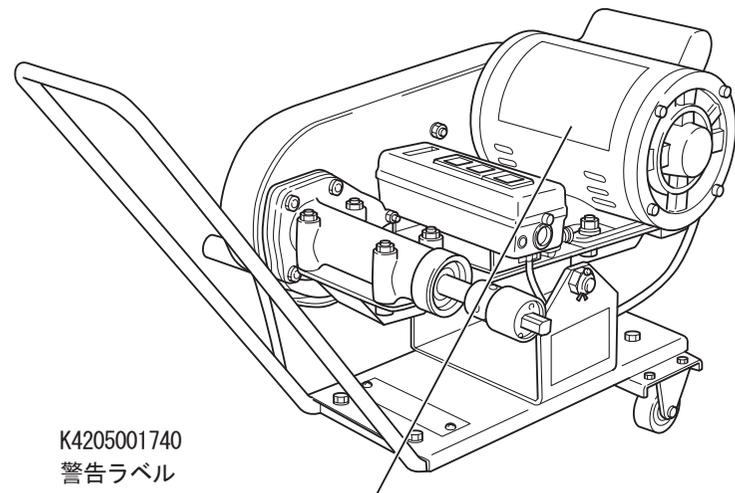
4-1. 警告ラベルと指示ラベルについて

重要

この製品には、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されています。販売代理店または弊社に注文してください。

4-2. 警告ラベル・指示ラベル貼付位置と説明



K4205001740
警告ラベル

警告			注意
切傷の恐れあり。刃に触れる場合は必ず電源プラグを抜く。	回転物に巻き込まれる恐れあり。作業中には絶対に触れない。	感電の恐れあり。必ずアースを取り付ける。雨中での使用禁止。	ご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。
			K4205001740

取り扱い説明

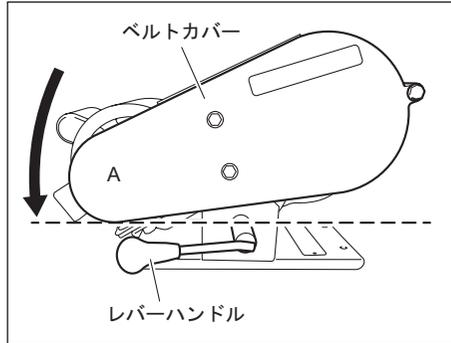
5. 使用前の準備

5-1. ハンドルの取り付け

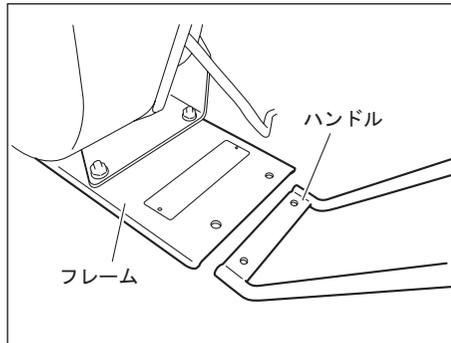
重要

電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

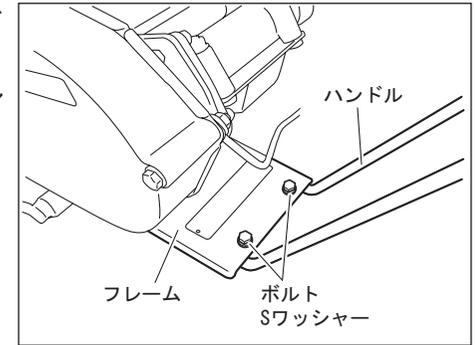
- 1) レバーハンドルのロックを解除してください。
- 2) ベルトカバーのA部分を一番下まで傾けてください。
- 3) レバーハンドルをロックして、傾きを固定してください。



- 4) ハンドルをフレームの下に入れてください。



- 5) ボルトとSワッシャーでハンドルをフレームに取り付けてください。
- 6) ボルトを確実に締め付けてハンドルを固定してください。

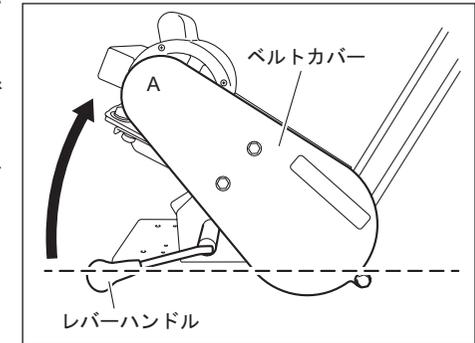


5-2. キャスター車輪の取り付け

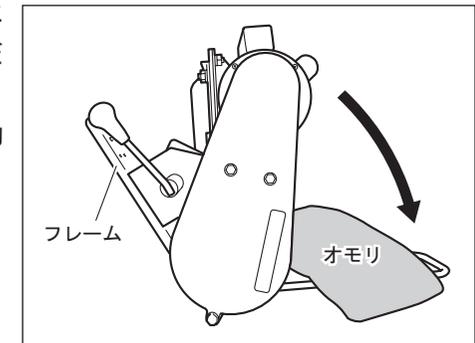
重要

電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

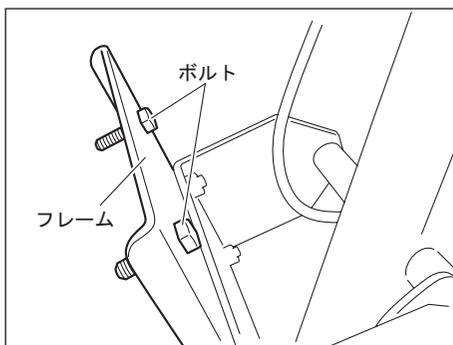
- 1) レバーハンドルのロックを解除してください。
- 2) ベルトカバーのA部分を一番上まで傾けてください。
- 3) レバーハンドルをロックして、傾きを固定してください。



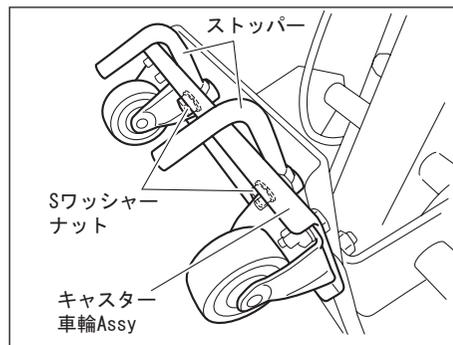
- 4) フレームを持ち、ハンドルが地面に接地するまで機械全体を倒してください。
- 5) ハンドル部にオモリなどを置いて動かないようにしっかりと固定してください。



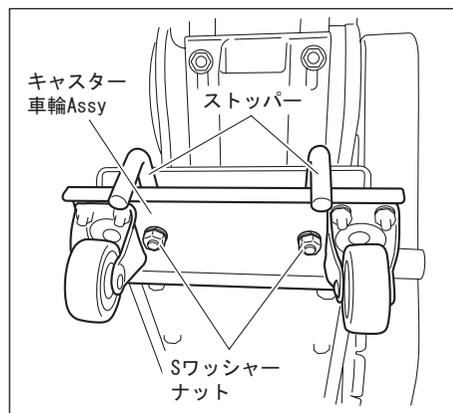
- 6) ボルトをフレームの取り付け穴に差し込んでください。



- 7) ストッパーとキャスト車輪 Assy を S ワッシャーとナットで仮に取り付けてください。



- 8) ストッパーの向きを調整して、S ワッシャーとナットを確実に締め付けて固定してください。



6. 点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従って点検をしてください。

6-1. 機械の点検



点検時にカバーを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。カバーが取り外されていると、回転物やベルトに触れたり、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

- 1) 機械に破損や亀裂、変形が無いか確認してください。
- 2) 電源コードに亀裂、損傷が無いか確認してください。
- 3) ベルトカバーに磨耗や劣化が無いか確認してください。
- 4) ベルトカバーに破損が無いか確認してください。
- 5) ベルトカバーの変形による可動部への干渉が無いか確認してください。
- 6) ベルトカバーが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- 7) 接続部にさびや固着が無いか確認してください。
- 8) 接続軸に磨耗や変形、損傷が無いか確認してください。
- 9) 接続軸にガタが無いか確認してください。

6-2. 作動の点検

- 1) 機械の電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は、AC100 V (50/60 Hz) です。
- 2) スイッチの「FOR」または「REV」を押してください。
- 3) 接続軸が任意の方向に回転するか確認してください。

7. 締め付けトルク

7-1. 標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類

重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。使用初期はボルト、ナットなどの緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。

締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。

一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。めねじの強度が弱い場合は適用できません。

錆びていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。

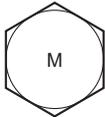
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。

「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締め付けトルクで締めないでください。ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。

締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。

一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。

インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

呼び径	一般ボルト		
	強度区分4.8		
			
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分8.8			強度区分10.9		
						
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1,186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	-	-	-	530	5,404.41	4,691.03
M24	-	-	-	670	6,831.99	5,930.17
M27	-	-	-	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	-	-	-	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

8. 操作方法

8-1. 機械を離れるときの注意



注意

電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。



注意

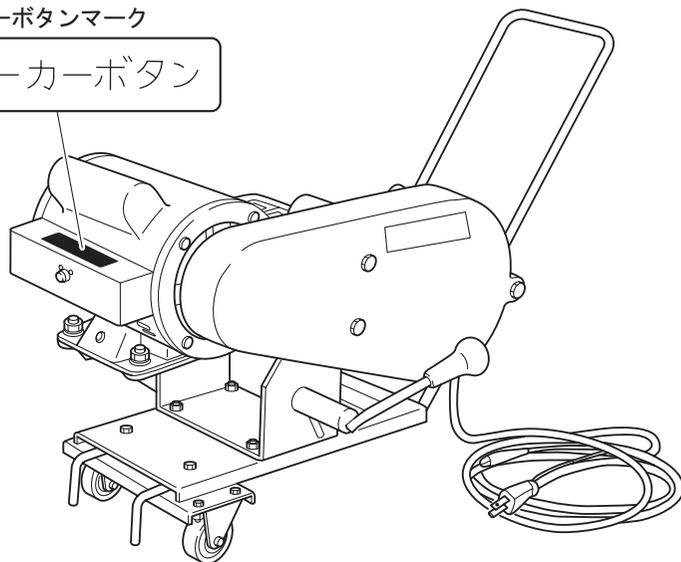
機械を水平な場所に置いてください。
傾斜地には絶対に置かないでください。

8-2. 操作ラベル貼付位置と説明

K4209001210

ブレーカーボタンマーク

ブレーカーボタン



8-3. スイッチ



警告

リールカッターが回転した状態で、スイッチの切り替えはしないでください。
リールカッターに手や指が触れて、ケガをするおそれがあります。

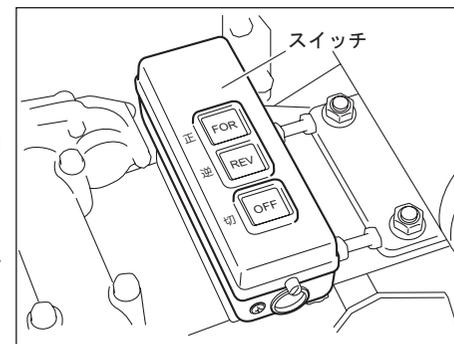


注意

スイッチは、作業の直前に「正 (FOR)」または「逆 (REV)」を押し、作業時以外のときは、必ず「切 (OFF)」を押ししてください。

スイッチを押すことで、電源の入・切とリールカッターの回転方向を切り替えることができます。

「正 (FOR)」または「逆 (REV)」を押すと電源が入り、リールカッターが回転します。リールカッターは、「正 (FOR)」を押すと刈り込み回転 (正回転) し、「逆 (REV)」を押すとバックラッピング回転 (逆回転) します。「切 (OFF)」を押すと電源が切れ、リールカッターの回転が停止します。

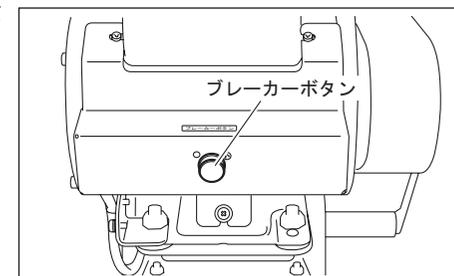


8-4. ブレーカーボタン

重要

ブレーカーボタンは、電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で使用しないでください。機械が故障します。

過電流が一定時間流れるとブレーカーが作動し、機械が停止します。停止した場合は、原因を調べて処置した後、ブレーカーボタンを押して復帰させてください。



9. 移動・運搬



警告

スイッチを切った後もリールカッターや伝動軸はしばらく回転しています。リールカッターや伝動軸の回転が停止していることを確認して、電源プラグをコンセントから抜いてから移動・運搬してください。

9-1. けん引移動

- 1) スwitchを切ってください。
- 2) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 3) 電源コードを束ねて、ハンドルと一緒に持ってください。
- 4) ハンドルを持ち上げ、フレームを地面から上げてください。
- 5) ストッパーが地面に接触しないように機械を引いて移動してください。

9-2. 持ち上げ運搬



注意

この機械は重いので、持ち上げるときは注意してください。また、足の上に機械を落とさないようにしてください。

- 1) スwitchを切ってください。
- 2) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 3) 電源コードを束ねてください。
- 4) 機械を持ち上げて運搬してください。

10. 作業

10-1. 作業時の注意事項



警告

バックラッピング中はリールカッターが回転しています。可動部に手足を近づけないでください。



警告

リールカッターに触れるときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

刃物に触れる場合は必ず手袋を着用してください。



警告

回転しているリールカッターにブラシで研磨剤を塗るときは、ブラシや手が巻き込まれないように十分注意してください。



警告

研磨剤が目に入ったときは、直ちに水またはぬるま湯で洗い流してください。症状が重い場合は、医師の診察を受けてください



注意

機械が動かないように、平らな安定した場所で作業してください。



注意

二人以上でバックラッピング作業を行わないでください。



注意

異常振動や異常音の発生、発熱などの機械の異常を認めた場合は、直ちに機械を停止してください。また原因を調べて、機械を完全に修理した後に再度使用してください。



注意

停電したときは、必ず機械のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。スイッチを切り忘れると、電気が復帰したときに思わぬ事故を起こします。

重要

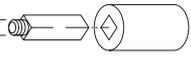
電源は AC100V (50/60 Hz) です。
 モーター損傷のおそれがあるため AC100V 以外の電圧では使用しないでください。

重要

感電事故防止のため、アースが接続されているか確認してください。
 アースは電源プラグにあるアースクリップを地中に埋めた接地棒などに接続してとります。(D 種接地工事)

10-2. 接続方法**接続金具の選択**

芝刈り機のリール軸とこの機械の伝動軸を連結させる金具を下表より選んでください。

番号	接続金具	適用機種
1	M8  付属の角ボルト (接続軸) と四角穴ソケット (接続パイプ) で一組	LM4D, LM41, LM45, LM54, LM315, その他の小型芝刈り機の各シリーズ (リール軸にラッピングマシン連結用のボルトが取り付けしていない芝刈り機)
2	27mm  汎用ドライブソケット (27mm)	LM180, LM184, LM185の各シリーズと、LM30他の各種ギヤングモア
3	24mm  汎用ドライブソケット (24mm)	LM81の各シリーズ
4	13mm  汎用ドライブソケット (13mm)	LM22, LM26, LM18, LM56, LM66, LM54, LM101の各シリーズ。 (リール軸にラッピングマシン連結用のボルトが取り付けしている芝刈り機)

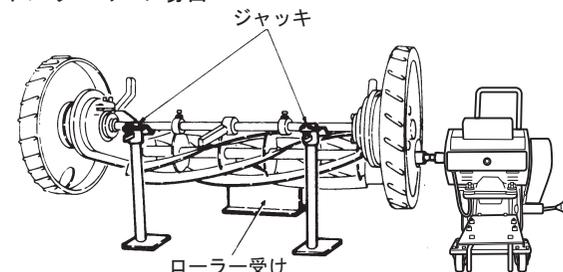
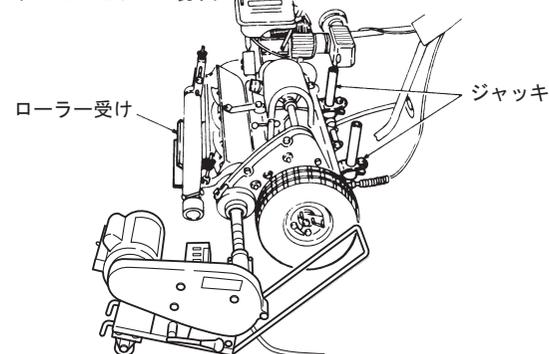
リール軸の位置合わせ**注意**

伝導軸の高さを調整するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。伝導軸やベルトに手が巻き込まれるおそれがあります。

注意

ジャッキを使用する際は、レバーで指を挟むおそれがありますので十分注意してください。

- 1) 付属品のローラー受けおよびジャッキを用いて芝刈り機のリール軸が地面と水平になるようにセットしてください。(図 1、2 参照)。
- 2) この機械のレバーハンドルを緩め、伝動軸を芝刈り機のリール軸と同じ高さに調整し、レバーハンドルをしっかり締めます。
- 3) 接続金具が作業中に外れないように芝刈り機とこの機械の間隔に注意して確実に連結してください。

図 1 ギヤングモアの場合**図 2** グリーンモアの場合

10-3. バックラッピング

バックラッピングとは、包丁の刃を研ぐようなもので、リールカッターとベッドナイフの刃先が丸みを帯びて切れづらくなった場合、ペースト状の研磨剤を塗って、リールカッターを逆回転させながら刃先を研ぐ作業のことです。

しかし、バックラッピングは応急処置的なもので、完全に切れ味は戻りません。リールカッターとベッドナイフの刃先が丸みを帯びて切れ味が悪くなった場合は、バックラッピングを行ってください。

バックラッピングの手順については、ご使用の芝刈り機の取扱説明書を参照してください。

以下に示す手順は、この機械を使用するための一般的な手順です。

1) 以下の備品を用意します。(この機械の付属品ではありません)。

- ・バックラッピングパウダーをオイルで混合した研磨剤またはジェルコンパウンド

参考：

研磨剤の混合比は体積比で、バックラッピングパウダー1:オイル3 - 4です。

当社純正品の研磨剤（ジェルコンパウンド）

	コード	名称
3.5kg×1 缶	6902113	ジェルコンパウンド #150
	6902119	ジェルコンパウンド #180
	6902110	ジェルコンパウンド #220
3.5kg×4 缶	6902114	ジェルコンパウンド #150
	6902120	ジェルコンパウンド #180
	6902111	ジェルコンパウンド #220

- ・ ブラシ
- ・ 短冊状の新聞紙
- ・ ウェス（布切れ）など
- ・ 工具

2) 短冊型に裂いた新聞紙をリールカッターとベッドナイフの間に 90° に入れ、リールカッターを手で回して新聞紙を切り、切れ味を調べます。

リールカッターの全面（3か所）にわたり、切れ味を調べてください。

3) リールカッターとベッドナイフのかみ合わせを、左右平均に軽くかみ合わせます。

4) この機械の伝動軸と芝刈り機のリール軸を連結します。

5) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

6) スイッチを「逆（REV）」を押してリールカッターをバックラッピング回転（逆回転）させます。

重要

リールカッターは（正面から見て）右側が左側より、早く磨耗するため、研磨剤を塗布するときは、必ず左から右へブラシを動かしてください。

7) リールカッターの切れ味の良い部分の上面に均一にブラシで研磨剤を塗りません。

【例】

A：左右切れて、中央部の切れが悪い場合は、左右に研磨剤を塗ります。

B：左右切れるようにすると中央部の刃合わせがきつくなる場合は、中央部に研磨剤を塗ります。

8) しばらくリールカッターを回転させておき、接触音がしなくなったらスイッチを切り、リールカッターの回転を停止させます。

9) 電源プラグをコンセントから抜きます。

10) リールカッターとベッドナイフに付着した研磨剤をウェスなどふき取ります。

11) 手順5) - 10) の作業を繰り返し、リールカッターの全面（3か所程度）が均一な切れ味になるようにバックラッピングします。

12) 最後に研磨剤をリールカッターの刃先全幅に塗って、仕上げのバックラッピングを行います。

重要

水で洗い流すときは、電装品に水がかからないように注意してください。

13) 研磨剤を水できれいに洗い流します。

14) 切れ味の確認をしながら、刃合わせ調整を行って終了です。

伝動軸の回転速度

工場出荷時のモータープーリーはφ 55 mm側が使用されております。(下表参照)
このプーリーを一旦外してφ 65 mm側に付け替えることにより回転速度を約2割速くすることができます。(『ベルトの張り調整』を参照)
推奨する回転速度は140 (rpm) です。

回転速度とプーリー径の関係

プーリー径	50Hz 地域	60Hz 地域
φ 55mm	113 (rpm)	140 (rpm)
φ 65mm	140 (rpm)	173 (rpm)

ブレーカーが作動した場合

作業中にブレーカーが作動してモーターの回転が停止した場合は、次の手順に従ってください。

- 1) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2) スイッチの「切 (OFF)」を押して電源を切ってください。
- 3) 芝刈り機とこの機械の連結を切り離してください。
- 4) 芝刈り機のリールカッターを手で回し、軽く回るか確認します。重い場合は芝刈り機の刃合わせの調整を行ってください。
- 5) ブレーカーボタンを指で押し込みます。
- 6) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 7) スイッチの「正 (FOR)」または「逆 (REV)」を押して電源を入れてください。
- 8) この機械の伝動軸が回転するか確認してください。
- 9) 伝動軸の回転を確認した後、スイッチの「切 (OFF)」を押して電源を切ってください。
- 10) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 11) 芝刈り機とこの機械を連結して、バックラッピングを行ってください。

参考：

ブレーカーボタンを押し込んでもモーターが回転しない場合は、配線、モーターなどの異常が考えられます。

11. 保管

11-1. 保管について

重要

電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態にしてください。

重要

雨ざらしになる場所は避け、必ず屋内に保管してください。

保管する前に機械をきれいに清掃してください。

以下の条件に該当する場所には保管しないでください。

- ・高温になる場所
- ・子供の手が届く場所 (簡単に持ち出せる場所)
- ・湿気が多い場所 (湿度や温度が急変する場所)
- ・直射日光の当たる場所
- ・揮発性物質の置いてある場所

メンテナンス

12. メンテナンス上の注意

⚠ 警告

スイッチを切った後もリールカッターや伝動軸はしばらく回転しています。リールカッターや伝動軸の回転が停止していることを確認して、電源プラグをコンセントから抜いてからメンテナンスをしてください。

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリはBARONESS 純正部品をお求めください。

純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

13. メンテナンスの方法

13-1. 機械の清掃

⚠ 注意

電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、絶縁劣化により感電、漏電、火災の原因になります。

重要

この機械は防水構造ではありません。モーターおよびスイッチなどに水がかからないようにしてください。

使用後は、機械の清掃を必ず行ってください。

- 1) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2) 機械を丁寧に清掃してください。

13-2. ベルトの張り調整

警告

ベルトの調整を行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

回転するベルトに触れないように注意してください。

重要

ベルトは張りすぎると軸受けを傷めたり、軸折損の事故を起こします。
また、緩すぎると滑ってベルトを傷めます。

重要

ベルトの張り具合の確認は、ベルトを数回転させた後に行ってください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。

また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。

必要に応じて調整し、いつも適正な張り具合に保ってください。

作業中に伝動軸の回転が停止してしまう場合は、以下の手順でベルトの張りを調整してください。

- 1) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2) 芝刈り機とこの機械の連結を切り離してください。
- 3) ボルト、ナットを緩めてベルトカバーを取り外してください。
- 4) モーターを固定している4個のナットを緩めてください。
- 5) モーター横のボルト2本で、モーターをベルトの張る側に押し付けてベルトを張ってください。

ベルトの張りは、プーリー間のベルト中央部を指で軽く25N(2.5kgf)で押さえて、10～15mmたわむ程度に調整してください。

- 6) モーターを固定しているナットを締め付けてください。
- 7) 芝刈り機とこの機械を連結してください。
- 8) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 9) スイッチの「正 (FOR)」または「逆 (REV)」を押して電源を入れ、ベルトの滑りが無いことを確認してください。

10) スイッチの「切 (OFF)」を押して電源を切ってください。

11) 電源プラグをコンセントから抜いてください。

12) ベルトカバーを取り付けてください。

ラッピングマシーン

RM20B

パーツカタログ

(本機お問い合わせについて)

型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と製造番号をあわせてご通知くださるようお願いいたします。

なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

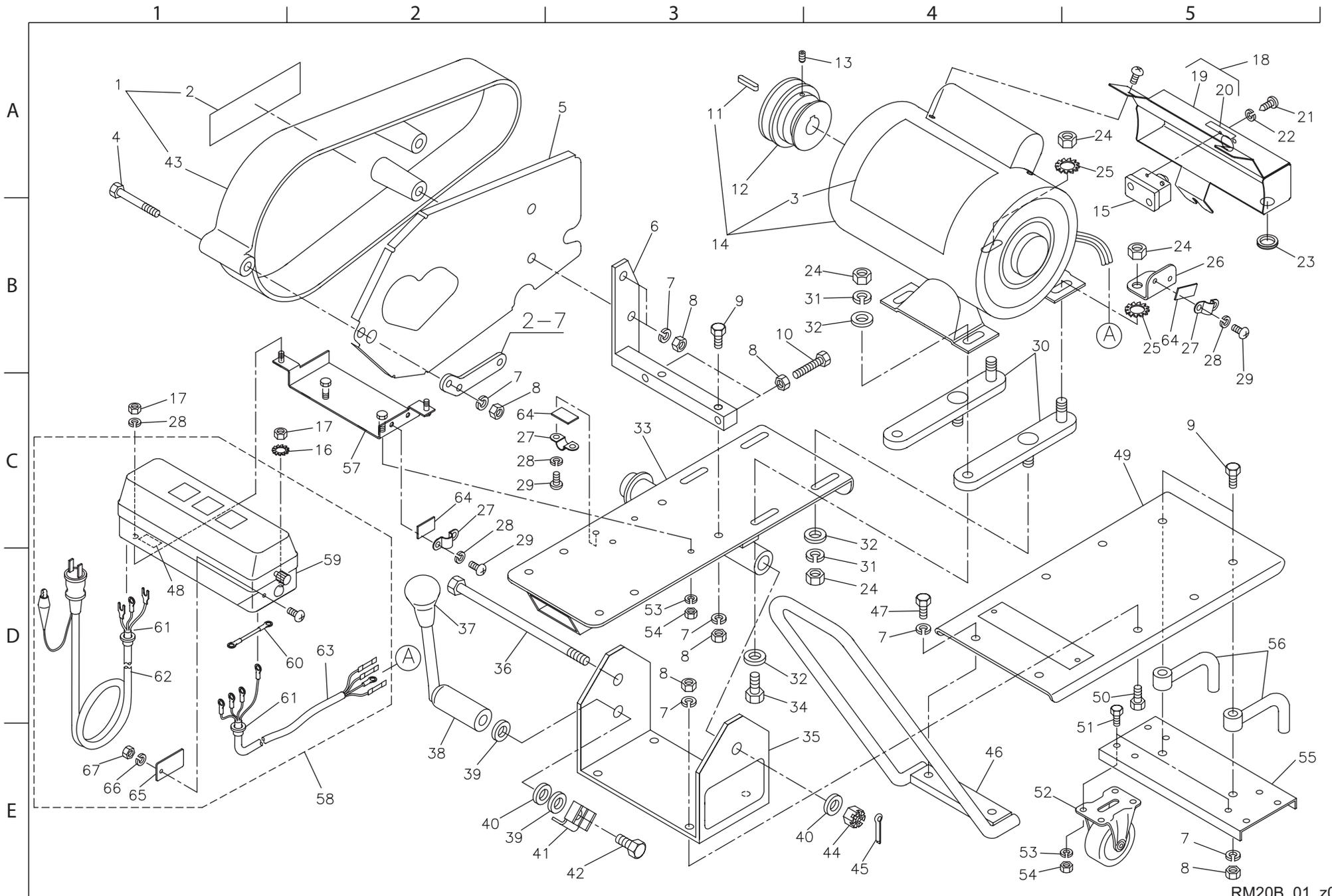
純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

(部品注文について)

部品注文の際は誤送の原因ともなりますので、必ずコード番号・部品名称でご注文ください。

例	コード番号	部品名称	個数
	K0200100002	10Sワッシャー	8

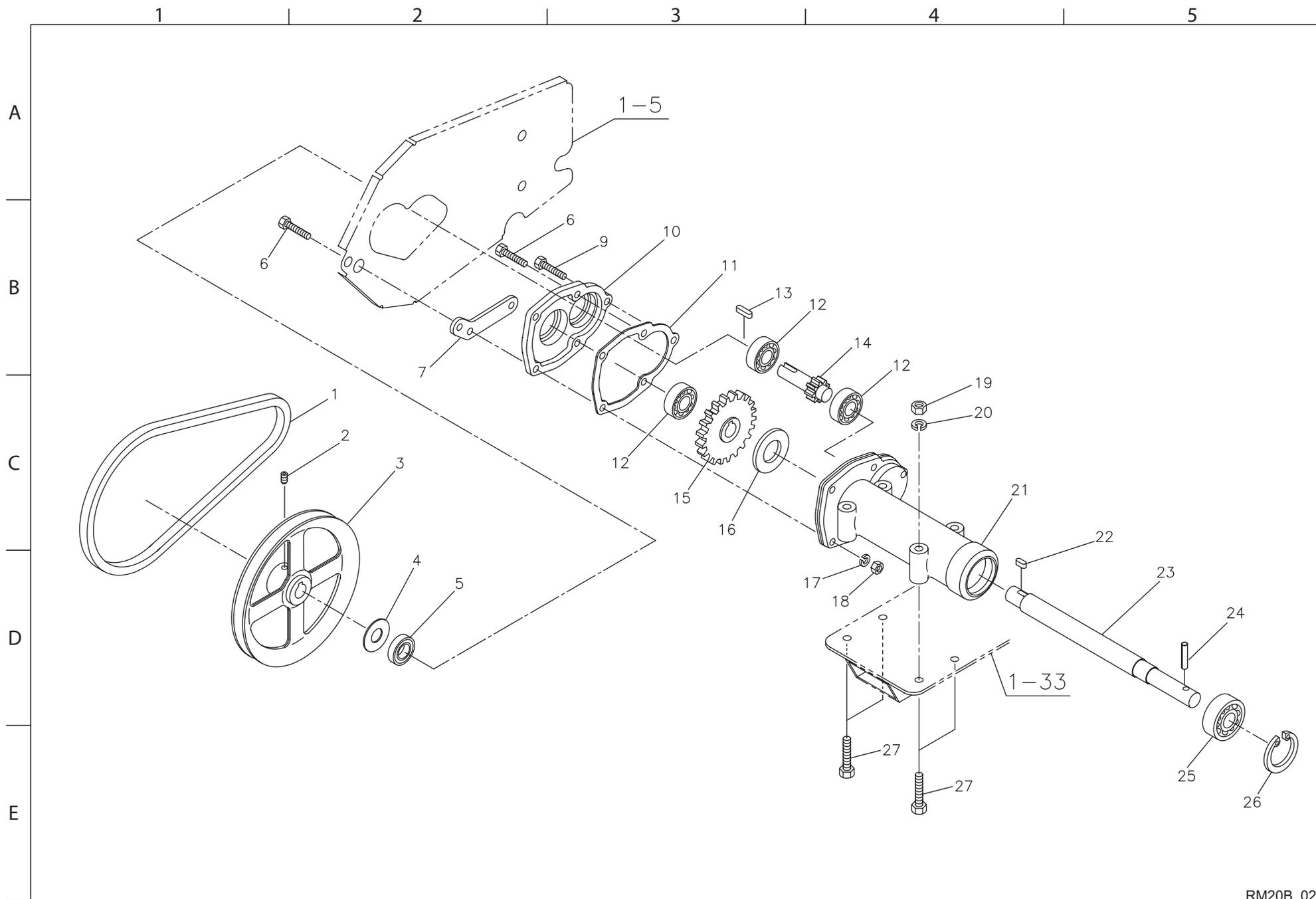
1. フレーム・電装部



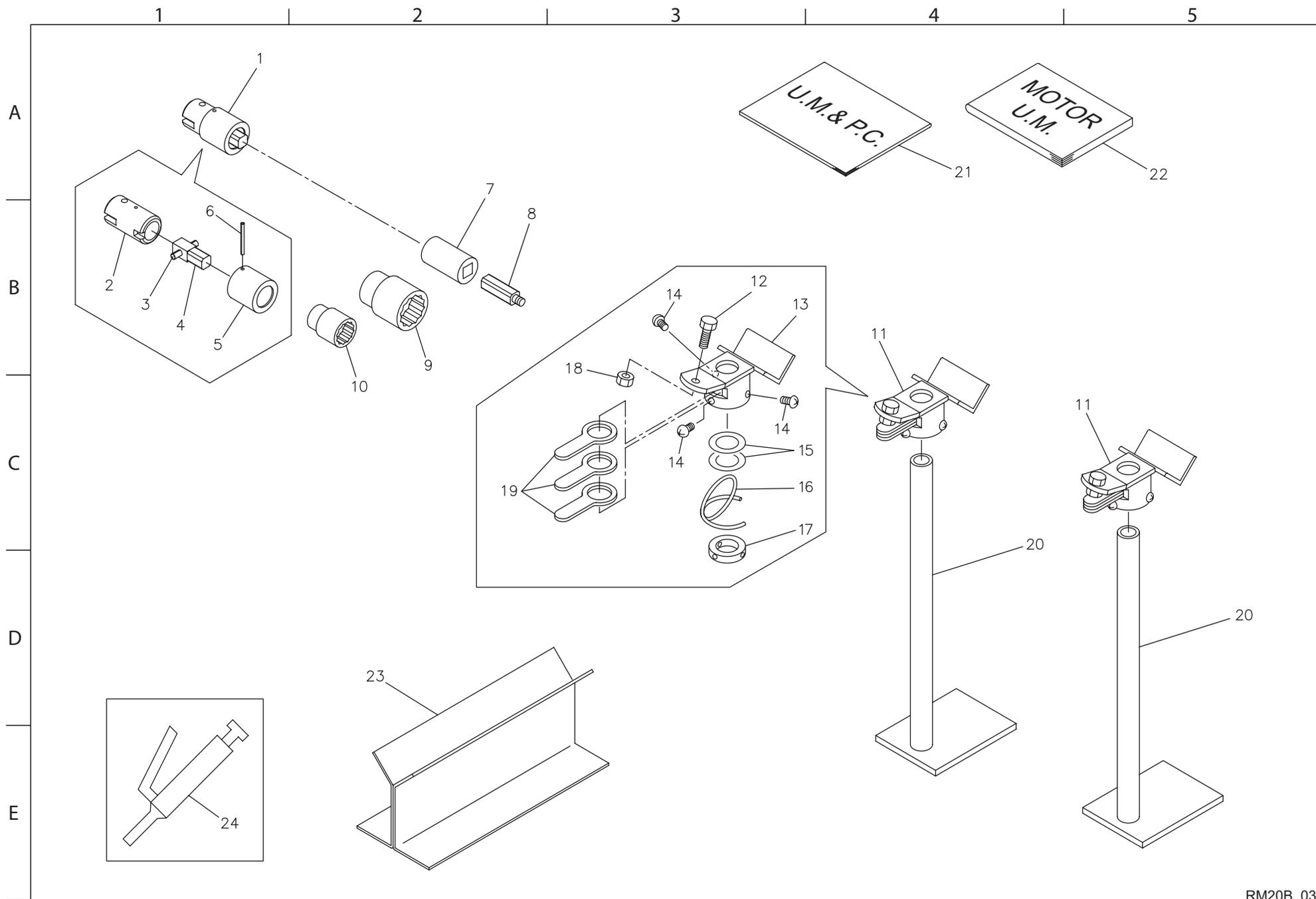
カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考	適応機番
1-1	RM20B--0232Z0	ベルトカバー COMP	1		
1-2	K4201000120	BARONESS マーク 121	1		
1-3	K4205001740	警告ラベル	1		
1-4	K0000080702	8 ボルト 70	3		
1-5	RM20B--0285Z2	カバー	1		
1-6	RM20---0213Z2	ベルトカバー取付金	1		
1-7	K0200080002	8S ワッシャー	13		
1-8	K0100080002	8 ナット	13		
1-9	K0000080302	8 ボルト 30	4		
1-10	K0000080502	8 ボルト 50	2		
1-11	K0500505250	5 両丸キー 525	1		
1-12	RM20---0302Z0	モータープーリー	1		
1-13	K0028060100	6 ステンレスホローセット 10	1		
1-14	RM20B--0314Z0	モーター COMP	1		
1-15	K3682000020	OR-627-10A	1		
1-16	K0222050002	5 歯付座金外歯形	2		
1-17	K0100050002	5 ナット	4		
1-18	RM20B--0281Z0	配線カバー COMP	1		
1-19	RM20B--0284Z2	配線カバー	1		
1-20	K4209001210	ブレーカーボタンマーク	1		
1-21	K0046030082	3+ タッピンねじ C-1 なべ頭 8	2		
1-22	K0200030002	3S ワッシャー	2		
1-23	K0900300140	膜付グロメット C30SG14A	1		
1-24	K0100100002	10 ナット	6		
1-25	K0222100002	10 歯付座金外歯形	2		
1-26	RM20B--0263Z2	コード支え金	1		
1-27	K5270002012	10 コード押え	3		
1-28	K0200050002	5S ワッシャー	7		
1-29	K0042050102	5+ 丸小ねじ 10	6		
1-30	RM20---0210Z2	モーターベース	2		
1-31	K0200100002	10S ワッシャー	4		
1-32	K5000100002	10 ワッシャー	6		
1-33	RM20B--0209Z3	モーター台	1		
1-34	K0000100302	10 ボルト 30	2		
1-35	RM20---0202Z3	モーター台受け金	1		

カタログ 番号	コード番号	部品名称	個数	備考	適応機番
1-36	RM20---0205Z2	ボルト	1		
1-37	K1300000040	9 握り黒 35.5	1		
1-38	RM20---0221A2	レバーハンドル	1		
1-39	K5011013222	1SPCC 座金 1322	2		
1-40	K5000120002	12 ワッシャー	2		
1-41	RM20---0225Z2	回り止め板	1		
1-42	K0000120352	12 ボルト 35	1		
1-43	RM20---0217BR	ベルトカバー	1		
1-44	K0124120002	12 みぞ付きナット低	1		
1-45	K0300032252	3.2 割ピン 25	1		
1-46	RM20A--0235Z3	牽引桿組立	1		
1-47	K0000080152	8 ボルト 15	2		
1-48	K4209000050	アースマーク	1		
1-49	RM20B--0266Z3	フレーム底板	1		
1-50	K0000080202	8 ボルト 20	4		
1-51	K0000060152	6 ボルト 15	8		
1-52	K2141000040	キャスター GR-50R	2		
1-53	K0200060002	6S ワッシャー	10		
1-54	K0100060002	6 ナット	10		
1-55	RM20A--0236Z3	キャスター取付台	1		
1-56	RM20A--0237Z2	ストッパー組立	2		
1-57	RM20B--0283Z3	スイッチ取付板	1		
1-58	RM20B--0301Z0	スイッチ ASSY	1		
1-59	K3661000010	ナショナル押釦 SW, BH	1		
1-60	RM20---0309Z0	リード線	1		
1-61	K4031000190	コード受けゴム 16	2		
1-62	RM20B--0313Z0	電源コード 5000	1		
1-63	RM20B--0311Z0	メイン配線	1		
1-64	K4229000030	1 ビニール板 2027	3		
1-65	RM20B--0264Z2	キャップ押え板	1		
1-66	K0200040002	4S ワッシャー	1		
1-67	K0100040002	4 ナット	1		

2. ギヤボックス部



3. 付属部品



BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共栄社

〒442-8530
愛知県豊川市美幸町1-26

TEL (0533) 84 - 1221
FAX (0533) 84 - 1220